

令和4年度 学校評価アンケート(上期)結果

学校名 泉小中学校

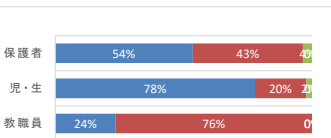
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえばそう思う ■ 2-どちらかといえばそう思わない ■ 1-そう思わない

人権同和教育の充実

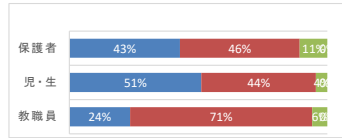
明るく楽しい学級作り

児童会・生徒会活動の充実

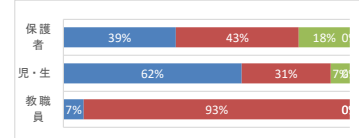
1
子供は、自分の大切さとともに他人の大切さを認めることができる。



2
子供は、自分の考えをもち、発信することができる。



3
児童会・生徒会は、主体的に活動している。

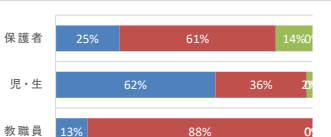


① 児童生徒及び保護者はほとんどが自分を認め合っていると感じている。教職員の取組の意識も良好であることから、引き続き授業や活動等において自分を認め合えるような取組を進めていく必要がある。
②③ 主体的な意思表示や児童会・生徒会の取組について、保護者は、児童生徒や教職員に比べて若干低い結果となっている。教職員が授業の様子や学校の取組について、さらに積極的に発信できるようにしたい。

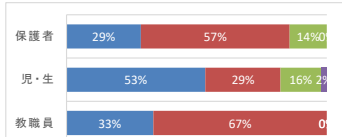
道徳教育の充実・心の教育

いじめ・不登校の防止

4
子供は、お互いに意見を出し合い、話し合いをすることができる。



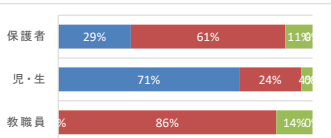
5
子供は、自分が困っているときに気軽に相談したり、困っている友達に進んで声をかけたりしている。



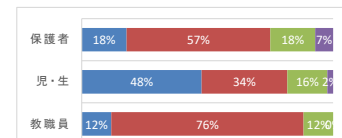
⑤ いじめ・不登校の未然防止、早期解決を図るために、すべての児童生徒の理解を全職員で行い、教育相談等を適時行うなど、取組を進めていく。
また、児童生徒同士の関係づくりについても、意図的・継続的に取り組み、支持的風土のある学級敬啓を進めていく。

確かな学力の育成

6
子供は、やる気を持って授業を受けている。

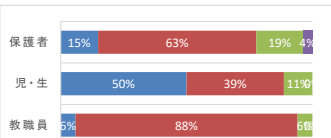


7
子供は、分からないことがあれば、人に問いたり自分で調べたりして、解決しようと粘り強く努力している。

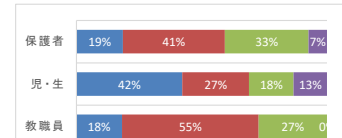


⑥⑦⑧ 意欲的に学習に参加している児童生徒が多い。授業改善を職員総体ですすめて、「わかる授業」「みんなで話し合い解決していく授業」「一人一人の子どもが主役となる授業」を作っていく。
⑨ 図書館支援員の協力のもと、魅力的な図書館経営が進められている。さらに、本を意欲的に読む機会を増やすために、授業での活用や一斉読書、電子図書の利用促進などを進める。

8
子供は、自分の考えをもち、意見交流しながら考えを深めることができる。

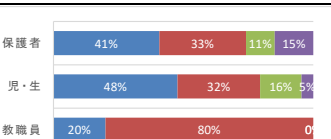


9
子供は、目標とする冊数をめざして進んで本を読んでいる。

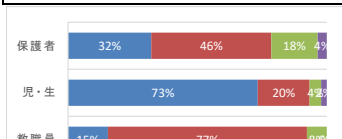


健やかな体の育成

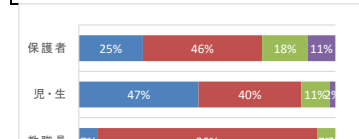
10
子供は、自分の生活習慣や体力の状況を知り、改善しようと努力している。



11
子供は、むし歯や自分の健康について、予防や治療を心がけている。



12
子供は、自分自身の食生活について関心がある。



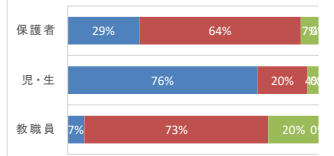
令和4年度 学校評価アンケート(上期)結果

学校名 泉小中学校

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえばそう思う ■ 2-どちらかといえばそう思わない ■ 1-そう思わない

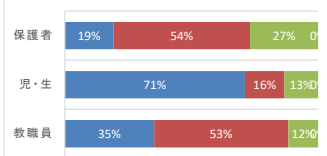
13

子供は、危険を察知し、事故やケガを回避しようとして心がけている。



14

子供は、美しい環境づくりに自ら取り組んでいる。

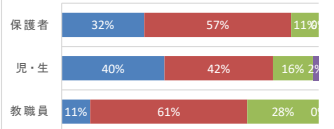


⑩、⑫ 生活習慣、食生活について「できていない」という意識が保護者が3割程度あり、児童生徒が2割程度ある。いずみん大作戦等で学校と家庭で連携し、意識の改善をさらに図っていく必要がある。
⑬ 危険予知については、教職員の取組意識が低い。地域の実情からも今後の進学等を踏まえ、交通ルールの遵守や危険予知の意識を高める取組を機会を見て行っていきたい。

地域とともにある学校づくり

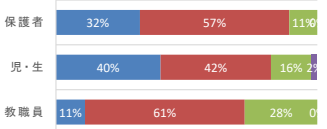
15

子供は、地域の方々に感謝の心をもってあいさつができています。



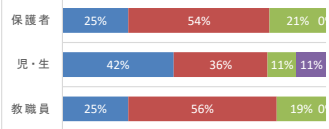
16

子供は、体験活動や交流活動に積極的に参加している。



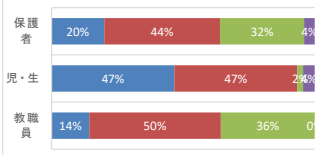
17

子供はふるさとの伝統文化に関心を持っている。



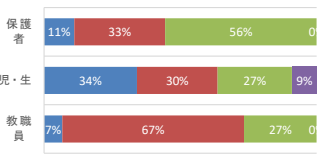
18

子供は、ふるさと泉のよさについて話したり考えたりしている。



19

子供は、多くの人に見守られて安全に登校できている。

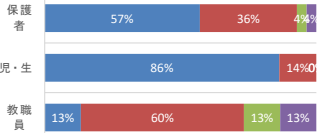


⑮児童生徒、保護者共に全員が地域の方への挨拶ができていていると感じているのに比べ、教職員の取組意識は低い。「あいさつ五つ星」の取組推進を教職員がさらに意識していきたい。
⑰⑱ 校内研修のテーマに「ふるさと泉のよさを知り…」とあるが、そのテーマが十分に生かされている結果とはなっていない。地域素材を取り入れた授業実践などを工夫していきたい。
⑲ 児童生徒の意識、教職員の実践共に、改善が必要である。

小中一貫教育の充実

20

学校は、義務教育9年間を見据えた指導を行っている。

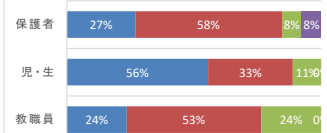


⑳ 保護者の意見の中に、「小中の職員間のさらなる連携」を求める記述があった。小中一貫校としてのよさを十分に生かし、できている取組は発信をしたり、必要な部分は改善を図る。

家庭・地域の連携について

21

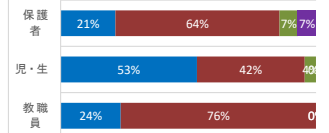
学校は、小学校・中学校の発達段階を大切にした指導を行っている。



㉑㉒ 児童生徒、保護者、教職員ともに、8割以上が発達段階に応じた効果的な指導が行われていると感じている。「泉小中学校で学んでよかった」と満足してもらえるように、今後も学校総体で指導力を伸ばしていきたい。

22

家庭は、泉小中学校で学ぶことに満足している。



保護者からのご意見等

学校から

- * 必要な場合は、厳しい指導もお願いしたい。
- * 事務室不在時の来校者対応について、検討してほしい。
- * 小中一貫校としてのよさをもっと深めてほしい。(先生方の連携強化、小学生と中学生がふれあう時間を増やすなど)

- 貴重なご意見ありがとうございました。今後とも、TPOに応じた適切な指導で児童生徒の健全育成に努めて参ります。
- 事務室不在時の対応については、事務室不在時に職員室まで上がっていただくよう、ご案内を出すようにいたしました。お手数ですが、しばらくは、職員室に上がっていただきますようお願いいたします。
- 現在も、中学校職員による乗り入れ授業(TT)、異学年による縦割り班掃除や集会活動、学校行事の合同実施など積極的に取り組んでいます。中学生のリーダーシップが小学生のよきお手本となり、取組の効果を実感しているところです。今後、さらに連携が図られるように、小中職員間の意見交換や打ち合わせを密にするなど、風通しのよい職場環境づくりを進めて参りたいと思っております。